

事業所名

おひさま広場

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024年

4月

1日

法人（事業所）理念		「感謝と奉仕」の精神で社会福祉に貢献する					
支援方針		社会生活を円滑に営むことができるよう、様々な考え方や適切な行動を身につけられるようなプログラムを組み、自立を目指す療育を行っています。					
営業時間		14時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	年齢が上がるにつれ、子どもたちを取り巻く環境の変化も著しくなるので、様々な葛藤の中での自己コントロールや生活習慣の定着をねらい、自ら考えて行動できるよう支援しています。 自己管理：身の回りの整理整頓や生活習慣を確立するための手立て（スケジュールカードの作成）を一緒に考え、自己をコントロールする方法では自分について見つめ直す機会を個別に設定して取り組んでいます。					
	運動・感覚	身体のコントロールを中心に、静の活動や動の活動を組み合わせながら、自己コントロールする方法を経験できるよう支援します。 サーキットを通して体の動かし方、気持ちやテンションコントロールとの調和を図りながらスケジュールに取り入れています。					
	認知・行動	スモールステップでできた経験を積み重ねることや、話をしっかりと聞くことで自立してできた経験を積み、自信に繋がるよう支援しています。 個々に合わせた個別課題を準備し、課題の評価を一緒にしながら本人が「できた、分かった」と実感できるよう丁寧に関わります。 また、一人ひとりに合わせたソーシャルスキルトレーニングや本人のエピソードを元に、「適切な行動」について一緒に振り返りを行いながら次の行動に繋がるよう支援しています。					
	言語 コミュニケーション	要求、報告、聴く、模倣、観察するなど、社会生活を円滑に営めるための大切な力を、一人ひとりに合わせた方法で経験できるよう支援しています。 語彙力を高めることができるよう、色々な場面で様々な言葉を添えながら知らせていきます。 社会的には不適切な行動とみなされてしまう暴言や暴力など、その時の対処法を知らないが故の行動と捉え、丁寧に話を聞きながら適切に行動できるよう支援しています。					
	人間関係 社会性	色々な大人や友だちと関わりながら生活する中で発生する人間関係において、自分も相手も大切にできる行動を一緒に考え、意思決定できる力を伸ばすことができるよう支援しています。 スタッフとの活動でソーシャルスキルトレーニングに取り組み、時には本人のエピソードを元にどう行動すれば良かったのかなど一緒に考えながら支援しています。					
家族支援	・こどもの信頼感を育み、家族や周囲の人と安定した関係を形成するための支援 ・こどもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援・保護者同士の交流の機会の提供 ・こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講座、ペアレント・トレーニングの実施 ・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助				移行支援	・具体的な移行や将来的な移行を見据えたこどもの発達の評価・支援 ・移行先との支援方針・支援内容の共有や、こどもの状態・親の意向・支援方法についての伝達 ・併行利用先とのこどもの状態や支援内容の共有 ・併行利用の場合の利用日数や利用時間等の調整	
地域支援・地域連携	・こどもが通う小学校・放課後児童クラブとの情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助 ・こどもを担当する相談支援専門員や、こどもが通う医療機関等との情報連携や調整 ・個別のケース検討のための会議への参加				職員の質の向上	・スキルアップのための研修への参加	
主な行事等	保護者交流会						